

『四谷千枚田のお田植感謝祭』

みんな灯る千枚田

いつ **平成19年6月2日(土)午後7時から**
(雨天の時は、6月3日(日)午後7時から)

どこで **四谷の千枚田**
なにを **希望者で千枚田の沿道をローソクで点灯します。**
(マッチ等の点火道具をご持参ください。)

ローソクで灯された千枚田を鑑賞しながら焼肉を
囲み交歓会を行います。(有料)

お願い **駐車場が限られていますので、できる限り『トコトコ』徒歩でお越してください。**

それと、**飲酒運転は絶対しない様に！**

何分、資金が不足しますので当日、協力費箱を設けますのでご協力をお願いしたいと思ひます。

家族でご参加ください！

主催 連谷お助け隊



よう来たのん!



四谷の

千枚田だよ



第 45 号

山すその千枚田の田の春めきて活動前のパワー溜お
鞍掛山一気に晴るる田代掻き、
海老 後藤久子
蒲郡市 金沢房子

連谷お助け隊は昨年好評であった「みんなで灯そう千枚田」を六月二日に開催します。

今年は、昨年の倍の千二百本のローソクで夕暮れの景観道や幾重にも積重られた棚田をローソクの灯りで浮き上がらせるなど、より一層の演出を考えています。

そもそもこの催しは一昨年この地で開催されたサミットののアトラクションとして夕暮れの千枚田にローソクを灯し、幽玄な世界を醸しだし皆んな参加者をビックリさせてやろうじゃあないか！と熱気あふれるお助け隊が企画したものの、ペシャこいてしまいました。

それでも、棚田関係者が全国から千人余りも訪れた世紀の一大イベント「全国棚田サミット」がこの地で開催され、その接客など地元対応を充分果たした達成感と活きる希望をいただいた千枚田を『どうしてもローソクで飾りたい！』その熱い思いから実施するものです。

この催しに、新城で活躍しているリコーダー合奏グループ「バルネロ・ムジック・コンソート」の皆さんの演奏協力と「ふるさと指導員」活動支援の大きな協力をいただきます。

私たちの千枚田（連谷小学校） 千枚田で活きる

連谷小学校の児童数は十名、新城市で一番の少数校です。でも、こども達は寂しくありません。それは、千枚田には自然がいっぱいあり、そこが学習の場であるからです。

平成十三年、四谷千枚田の3枚を借り、田おこしから代かき、田植え、稲刈り、脱穀等の作業を全校で行っています。当初、二十数名で取り組んだ総合的な学習『千枚田を開こう』も、その後、全国棚田（千枚田）サミットでの発表を中心とした『千枚田に学ぶ』を経て、今年度からは『千枚田で活きる』というテーマで食育も大きく位置づけ、取り組んでいます。

この七年間で児童数は半数以下の十名と極小規模になりました。しかし、諸活動は上学年から下の学年へと引き継ぎ、発展継続しています。

四月二十七日に田起こし、五月九日に代かき、五月二十三日には田植えが行われます。

その一連の作業（学習）状況をテレビ愛知が取材しています。追記：長篠合戦「のぼりまつり」に奉納されたタニシは学校田の田起こしの時、みんながどろんこになつて採取したものです。

こども農学校の田植え

五月十二日（土）、JA愛知東主催「こども農学校」の田植えが千枚田で高橋保存会長の指導により開かれ、参加した六十二名のこども達が出来ない手つきで田植えを行いました。



三河の山里ツーリズムの田植え

五月十二日（土）、三河の山里ツーリズムin新城「千枚田でこめづくり」の田植え体験が名古屋や刈谷、豊川、などから参加した九組十五人がふるさと指導員 小山舜二の田んぼで行われました。地元主婦がタケノコ、椎茸、ワラビの炊き込みご飯や柏餅、また、珍しい山菜のコシアブラなど山の幸いっぱい昼食を提供、交流が図られました。

三河の山里ツーリズム



鞍掛け山麓千枚田保存会総会

五月二十七日（土）、連谷会館において午後七時三十分から開催されます。会員全員の参加をお願いします。

げんげん

賑わいをみせた弘法様

五月七日は弘法様（空海）の生まれの日だげな。

そいでやあく身平橋じゃあのおん小山広一、海源庵、小山浩二、薬師様 大林は来宝寺、与良木は松下寿松敏之、方瀬は原田浩 原田隆二

長谷川英一 小別当は原田豊 松下は医徳寺（敬称略）でのん、弘法様を祀ったつてのん、お参りに来る人んとうに「お菓子」や「うどん」なんかでお接待をせるだぞん。

弘法大師は偉いお坊さんだつたむんで、いろんな伝説が残つておるがのん、身平橋の薬師様に鯖弘法様があるだらあ、あの鯖弘法様つちゆうのはのん、昔、馬追い衆が祀つたもんだげな。なんでだん。ふん、わしも聞いた話で、嘘だかふんどだか知らんがのん、馬がやあく腹下り（下痢）で参つちやつたところへ弘法様を通りかかつてのん、鯖の「ネエラ」を馬にくれたら腹痛が治つちやつただげな。そいでやあ、馬方衆が喜んじやつて鯖弘法様を（昭和四年）建たそうだげな。

ふくん、その「ネエラ」つにゆうもんは何んだだだん。・「ネエラ」はのん魚の「アラ」のことだげな。・そいじゃあ弘法様は旨い身は自分で食つちやつて腹バタやアラを馬にやつたつちゆうことかのん。・さあく。・

行 平成十九年五月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二